

令和6年度
「伝統工芸 ふれあい体験」
実施報告

令和6年12月3日（火）～5日（木）

場所：なら歴史芸術文化村

芸術文化体験棟3階 交流ラウンジ

実施概要

【 製作体験 】

日程	品目	指導者	体験参加者数	
12月3日(火)	奈良晒 (午前の部 午後の部 各回入替え)	おかい だいすけ 岡井 大祐 氏	午前の部	7名
			午後の部	7名
12月4日(水)	吉野手漉き和紙 (午前の部 午後の部 各回入替え)	うえ こうぞう 植 浩三 氏	午前の部	13名
			午後の部	11名
12月5日(木)	奈良墨 (午前の部 午後の部 各回入替え)	ながの あつし 長野 睦 氏	午前の部	7名
			午後の部	13名

体験参加者 合計58名

な ら さらし 奈良晒とは…



奈良晒とは、良質の高級麻織物です。徳川幕府の御用達品として認められたことから奈良晒の名声を高めることになり武家や町民の贅沢品として、袴や夏のひとえものとして用いられていました。

奈良晒の製作体験



よしのてすきわし 吉野手漉き和紙とは…



うだがみ みすがみ くずがみ
宇陀紙、美栖紙、国栖紙とも呼ばれています。優れた風合いとねばりの強さが特徴です。漆漉しから書道紙、表装紙ひょうそうしに至るまで、幅広い製品が作られています。

吉野手漉き和紙の製作体験



な ら すみ

奈良墨とは…



たんそまつ すす にかわ

墨は炭素末(煤)と膠と少しの香料をねり合せてできています。煤は、黒々とした墨の色を示し、膠は紙や木に書かれた煤を定着させる働きをし、香料は膠のにおいを消し、清い香りをもって書く人の気持ちをやわらげる役割をはたします。

奈良墨の製作体験

